

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	農村計画システム小委員会	主 査 名：中島熙八郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：藤本信義
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	02 年度：既存の枠組みにとらわれない、都市域を包含した農村計画システム構築に向けた基礎的研究 03 年度：ダウンサイジング期における農都共生システムの計画手法に関する研究	
委員構成 (委員名(所属))	主査：中島熙八郎(熊本県立大) 委員：地井昭夫(広島大)・石丸紀興(広島国際大)・菊池朋成(九州大)・三橋伸夫(宇都宮大)・山崎寿一(神戸大)・楠本侑司(農村開発企画委員会)・木下 勇(千葉大)・神吉紀世子(和歌山大)・齋藤雪彦(東京農工大)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	200,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 9 月 5 日：小委員会 9 人 2004 年 3 月 20 日：小委員会 6 人 2004 年 3 月 21 日：兵庫県尼崎市、同養父町調査 5 人 その他、メール上にて、情報・意見交換を実施
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1. 2003 年度の委員会活動、他、メール上の意見交換を踏まえ、2003 年 9 月 5 日の小委員会で、更に討論し、「ダウンサイジング期における農都共生システムの計画手法に関する研究」、「ヨーロッパにおける農都共生システムの計画手法に関する研究」につき科研費を申請した。 2. 兵庫県尼崎市における現地調査に基づき、都市内農的環境の保全活用に向け、活動する地域団体にたいするコメントを作成、提供した。 3. 2 年間の小委員会での討論、情報交換及び、各委員の研究成果を「ダウンサイジング期における農都共生システムの計画手法に関する基礎的研究」として取りまとめた。 委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 1. 小委員会委員の研究を尊重しながら、それらの成果を踏まえた相互討論の中から、「ダウンサイジング期における農都共生システムの計画手法に関する研究」という共同研究テーマを設定することが出来、各委員がそのテーマを意識的に追求することによって、上記研究のまとめが作成できた。 2. 一方、委員の諸事情、予算的制約などから、委員全員が過不足無く活動に参加できなかったこと、また、成果の公表など、広報活動が十分でなかった点は反省点として残されている。
その他評価すべき事項	特になし。